

第 182 回 競技委員会 議事録案

1. 日 時：2007 年 1 月 31 日（水）18 時 00 分～19 時 30 分
2. 会 場：連盟本部事務局
3. 出席委員：平田委員長、清水、寺本、斉藤、田中、山菅、西田、仲村
以下委任状：林、佐々部、古田
オブザーバー：大政
委員総数 11、定足数 8、出席 11（内委任状 3）で成立
4. 議事の経過及び結果：平田委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 その他議案

◎大高氏の日本リーグに於けるメンバーのそろわなかったときの対処については、不戦敗を選択してもらうということで合意し事務局より返事をする事と承した。

◎英語版コンベンションリストはヘッダーを書き直してわかりやすくし NEC 杯までにゲラー氏に校正をお願いすることとした。

◎来年度の朝日新聞社杯から、最終日だけ組込みハンドを用意してハンドレコードを用意することとした。ボードは裏表のテーブルで同じボードをプレイ出来るよう運営サイドに要請することで合意した。また再戦は 6 ラウンドまですべて無しとし、7 ラウンド目（3 日目）からは連続再戦を含め再戦ありで行うことで合意した。

◎来年度の高松宮記念杯から、3 日目以降の対戦には組込みボードを用意しハンドレコードを用意することとした、ボードは裏表のテーブルで同じボードをプレイ出来るよう運営サイドに要請することで合意した。1 敗しかしていかないのに準優勝になってしまうことに関して 8 ボードの延長を申し出る権利を検討したが、従来どおり 1 敗で準優勝でも仕方なしということで合意した。

◎競技規定の 1 位タイのときのプレイオフ規定を 8 ボードから 4 ボードに減らしそれでも同点のときは 1 ボードずつのプレイオフをすることに変更することで合意した。

◎賞品の数を一律 1 チーム 4 コからプレイヤーの人数にしたらどうかと意見が出たが競技会事業部審議会の判断事項であることで了解した。

◎マスターポイントも 6 人でも 4 人でも同じ点数になるべきではないかという意見が出たのでマスターポイント小委員会に審議を委ねることで了解した。

◎次回競技委員会までに本年度活動報告の素案を用意することとした。

次回競技委員会は 3 月 7 日（水）18 時 00 分から開催する。成田氏に出席を依頼し HAND BOKK 関連を主に議論する。

以 上